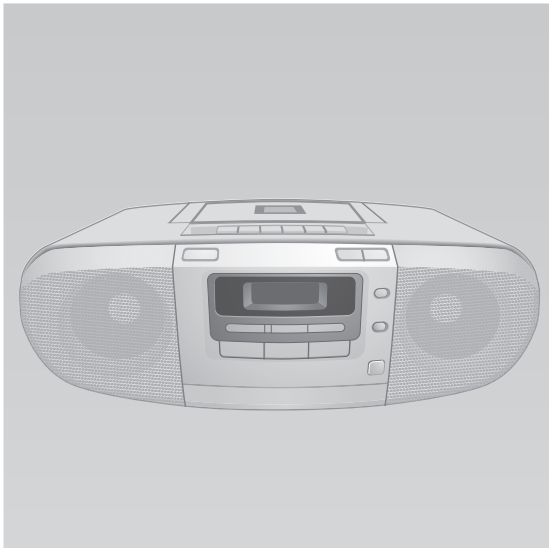
Panasonic

取扱説明書

ポータブルステレオCDシステム

品番 **RX-D45**

必ずお読みください

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（➔ 16、17 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日･販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

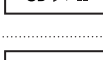
RQTX1103-1S

各部のはたらき

テープを聴く／録音する（➜ 4、10、11 ページ）

ボタン	はたらき
テープ/電源切	テープを使う （CD やラジオの電源を切る）
再生 ►	再生する
停止/取出し ■/⏏	停止する、取り出す （テープ使用時に電源を切る）
一時停止 ❚❚	一時停止する
巻戻し/レビュー ◀◀　早送り/キュー ▶▶	巻戻しする、早送りする
録音 ●	録音する

CD を聴く（➜ 6 ページ）

ボタン	はたらき
CD 開/閉 ⏏	CD トレイを開閉する
CD ►/❚❚	再生する、 一時停止する
■	停止する
−/⏮　⏭/＋	曲番を選ぶ
・プレイモード −プログラム	くり返し聴く、 順不同に聴く、 予約順に聴く

カセットふた
カセットボタン
カバーの開けかた
（➜ 4 ページ）

音量を調節する

音質を変える
（➜ 5 ページ）

電源ランプ

表示パネル

スピーカー

CD トレイ

時計／タイマーを使う（➜ 3、12 ページ）

ボタン	はたらき
−⏲再生 時刻/タイマー	設定に入る、決定する、 時計を表示する
−/⏮　⏭/＋	時刻を合わせる

ラジオを聴く（➜ 8 ページ）

ボタン	はたらき
−オートプリセット FM/AM	FM/AM の切り換え、 オートプリセット
−/⏮　⏭/＋	選局する
選局モード	選局方法を切り換える
FMモード ■	FM の雑音を減らす

お願い

●本機のスピーカーは、防磁設計ではありません。テレビやパソコン等の近くに置かないでください。

付属品

□ **電源コード** …1 本【K2CA2BA00005】

買い替え時は、お買い上げの販売店にご相談ください。
（【　】内は買い替え時の品番です。品番は 2010 年 1 月現在のものです。変更されることがあります。）
電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

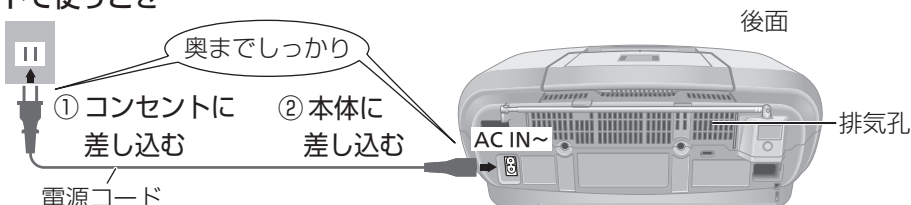
付属品や別売品（➜ 10 ページ）は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

CLUB Panasonic
http://club.panasonic.jp/mall/sense/

準備

電源を準備する

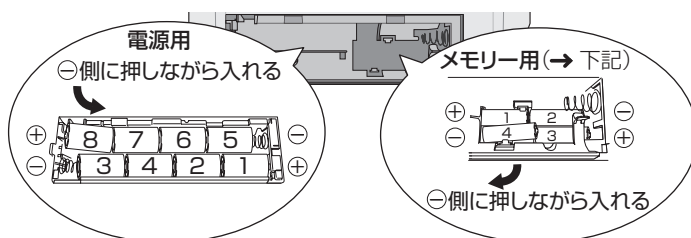
■コンセントで使うとき

AC100 V、
50/60 Hz

・電源コードを外すときは、まず電源を切ってから（➜ 2 ページ）、逆の順序（②、①の順）でコードを抜いてください。

■電源用電池（別売）で使うとき

① 本体底面のふたを外す
（家具などを傷つけないよう、本機の下に柔らかい布などを敷いておく。）

“PUSH”の表示部（2箇所）を押しながら手前に引く

② アルカリ乾電池（単２形・８個）を番号順に入れる
（マンガン乾電池は持続時間が著しく短くなるので、使用しない。）

③ 電源コードを本体に差し込んでいる場合は、抜く
（電源コードを本体から抜かないと乾電池電源に切り換わりません。）

お願い

●電池消耗時“▱”が点滅し、その後しばらく使用すると“U01”が表示されます。この場合、電池を交換してください。

メモリー用乾電池（別売:単3形・4個）を入れる（マンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。）

電源コードや電源用乾電池を本体から外したり、停電した場合でも、メモリー（放送局や時計などの設定）が保持されます。

お願い

●メモリー用乾電池は定期的に交換する。（電池寿命は約１年です。）
●電池交換は、メモリーが解除されないよう、電源コードをコンセントと本体に接続した状態で行う。

お知らせ

●電源用電池のみで使用している場合、コンセントに接続していない電源コードを本体に差し込むと、メモリーが解除されます。その場合でもメモリー用乾電池を入れておくとメモリーを保持します。

お願い

●長期間使用しないときは、節電のため電源プラグをコンセントから抜く。（電源切の状態で、約 0.4 W の電力を消費。）
（メモリー解除を防ぐためには、メモリー用乾電池を入れておく必要があります。）

時計を合わせる（24 時間表示）

① FM/AM 押す（電源ランプが点灯）

② 時刻/タイマー 押す

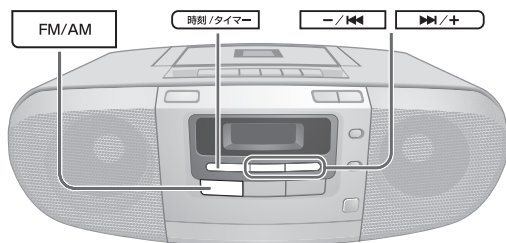
--:--

③ −/⏮ ⏭/+ で、時刻を合わせる

●連続的に変えるには押したままにする。

④ 時刻/タイマー 押して、決定する

（元の表示に戻る）

■時計を表示するには

時刻/タイマー 押す

お願い

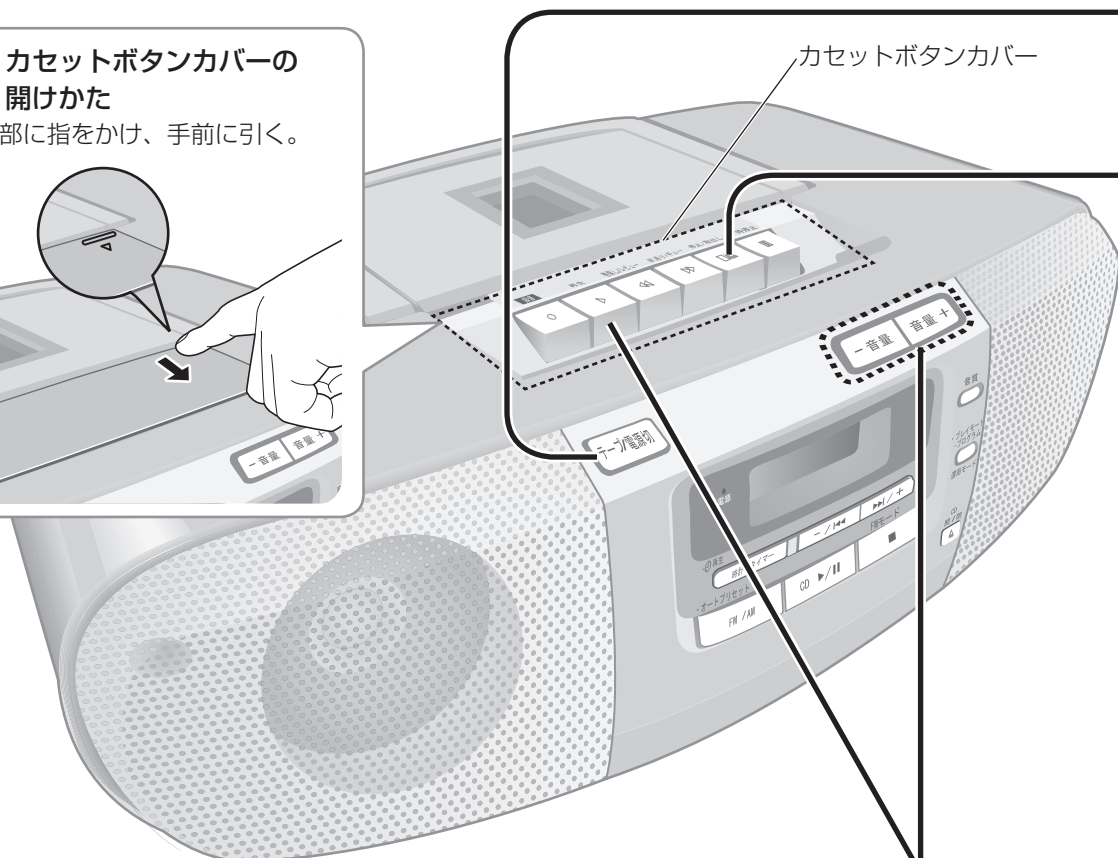
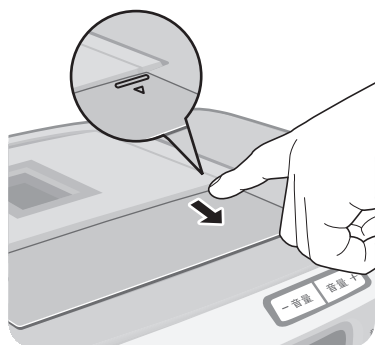
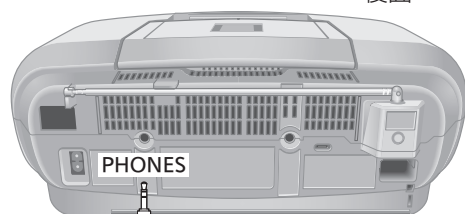
●時刻補正は定期的に行う。（時計精度は、室温で月差約 1 分）

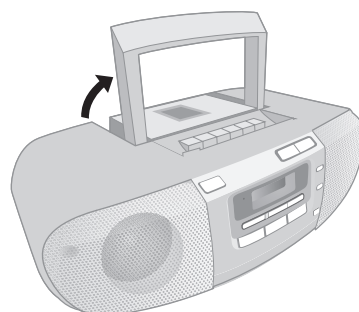
お知らせ

●電源用電池で使用している場合で、電源切のときは、時計表示されません。

テープを聴く

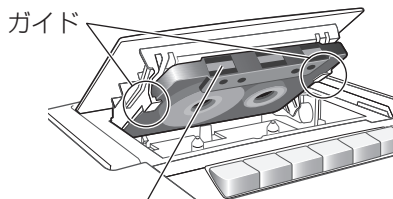
ヘッドホンを接続する

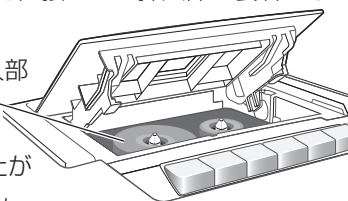
後面

お願い

●接続するときは、音量を下げる。
●耳を刺激するような大きな音量で、長時間聴くことは避ける。

●取っ手を上げて、持ち運びもできます。

1 CDやラジオモードになっている場合
テープ/電源切 **押す**
（電源ランプが消灯）

2 停止/取出し ■/⏏ **押し、**
聴きたい面を上にして
テープを入れる

■ **テープの正しい入れかた**

○ テープをガイドに沿わせ、装着する

✕ テープを直接テープ挿入部に装着しない

※ カセットふたが
閉まりません

テープを入れたら、ふたを手で閉める

3 再生 ▶ **押す（演奏開始）**

4 －音量 音量＋ **で、**
音量を調節する

■**停止（電源を切る）は** 停止/取出し ■/⏏ 押す

■**一時停止は** 一時停止 ❚❚ 押す
（一時停止 ❚❚ と 再生 ▶ が押し込まれた状態で
止まります。）
●解除するには、再度押す。

■**早送りや巻戻しは**
再生中や一時停止中に
巻戻し/レビュー ◀◀ 早送り/キュー ▶▶ 押したままにする
停止中に
巻戻し/レビュー ◀◀ 早送り/キュー ▶▶ 押す
●止めるには 停止/取出し ■/⏏ 押す。

お願い
●早送り（または巻戻し）中は [再生 ▶] を押さない。（テープが回転部に巻き込まれるおそれがあります。）

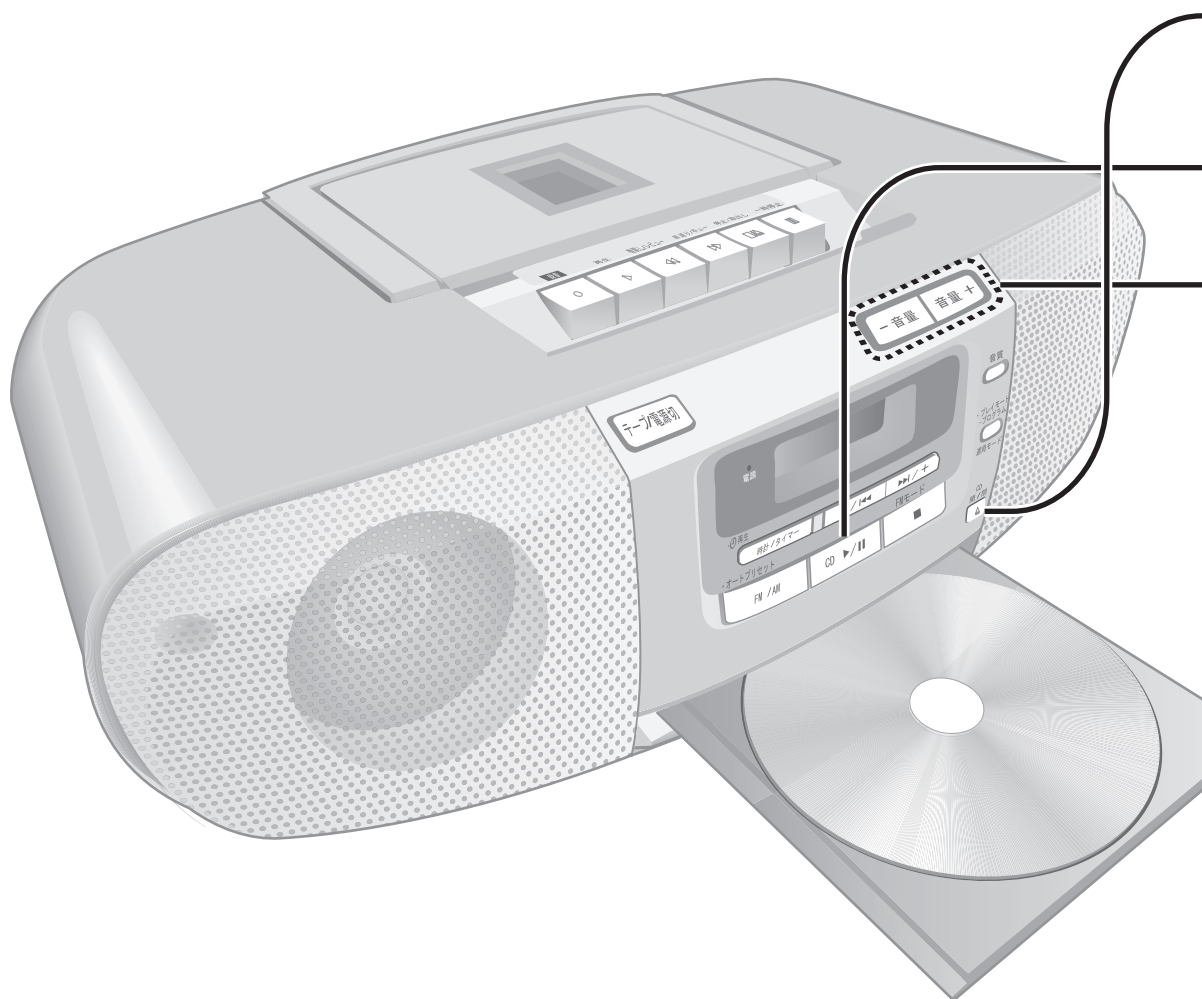
音質を変える

押す
（押すたびに換わる。）

ロックなどパンチを効かせるとき
(HEAVY) — EQ1
↓
ジャズなど高音部を鮮明にするとき
(CLEAR) — EQ2
↓
BGM として聴くとき
(SOFT) — EQ3
↓
ボーカルにつやを出したいとき
(VOCAL) — EQ4
↓
OFF
音質を変えないとき — EQ OFF

お知らせ
●効果の程度は、音源（テープ、CD、ラジオ）により異なります。

使いかた
テープを聴く

CD を聴く

■CD の持ちかた

・再生面（光っている面）には触れない。

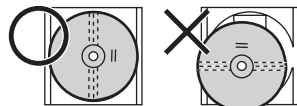
■表示について

“***NO DISC***”：CD が入っていません。

“***FULL***”：プログラム演奏曲が予約限度数（24 曲）入っています。

■CD の入れかた

・ラベル面を上にし、CD トレイの中央に正しく置く。

12 cm CD

8 cm CD

1 [CD 開/閉 ▲] 押し、CD を入れる

●トレイを閉めるには再度押す。

2 [CD ▶/II] 押す（演奏開始）

3 [− 音量][音量 ＋] で、音量を調節する

■停止は

[■] 押す

■一時停止は

[CD ▶/II] 押す

●解除するには、再度押す。

■前の曲や次の曲を聴くには（スキップ）

[−/⏮][⏭/＋] 押す

●曲の途中で [−/⏮] を押すと、曲の頭に戻る。

■早送りや早戻しをするには（サーチ）

演奏中や一時停止中に

[−/⏮][⏭/＋] 押したままにする

■音質を変えるには

5 ページをご覧ください。

■電源を切るには

[テープ/電源切] 押す

お願い

●演奏中や一時停止中、CD トレイを閉めた直後は、[CD 開 / 閉 ▲] を押さない。（CD に傷が付くおそれがあります。）

お知らせ

●ランダム演奏とプログラム演奏は、同時に使用できません。
●プログラム演奏時は、プレイモードの切り換えはできません。
●ランダム演奏中は、［− /⏮］を押しても前の曲には戻れません。
●ランダム演奏中のサーチは、演奏中の曲の中だけで行われます。
●リピート演奏やランダム演奏、プログラム演奏の設定後は、電源コードを抜いたり、CD を取り出したりすると設定が解除されます。

くり返し聴く / 順不同に聴く（プレイモード）

[・プレイモード -プログラム] 押し、モードを選ぶ

（押すたびに換わる。）

表示なし：通常
↓
1- ⟳ ：1 曲をくり返し演奏する（1 曲リピート演奏）
↓
⟳ ：全曲をくり返し演奏する（全曲リピート演奏）
↓
RND ：順不同に演奏する（ランダム演奏）

好みの順に予約して聴く（プログラム演奏）

① CD 停止中に

"PGM" が点滅表示するまで [・プレイモード -プログラム] 押したままにする

（表示：0 --- 00）

② [−/⏮][⏭/＋] で、曲番を選ぶ

（表示：曲番 3 --- 00）

③ [・プレイモード -プログラム] で、決定する

（表示：3 --- 01 予約順）

④ 手順②と③をくり返し、予約する（最大 24 曲まで予約可能）

⑤ [CD ▶/II] 押す（演奏開始）

■予約内容の確認は

停止中に"*P*"が表示された状態で

[−/⏮][⏭/＋] 押す

（表示：P 01）

■プログラム演奏で聴かないときは

CD 停止中に

"PGM" が消灯するまで

[・プレイモード -プログラム] 押したままにする

■予約設定の解除は

停止中に"*P*"が表示された状態で

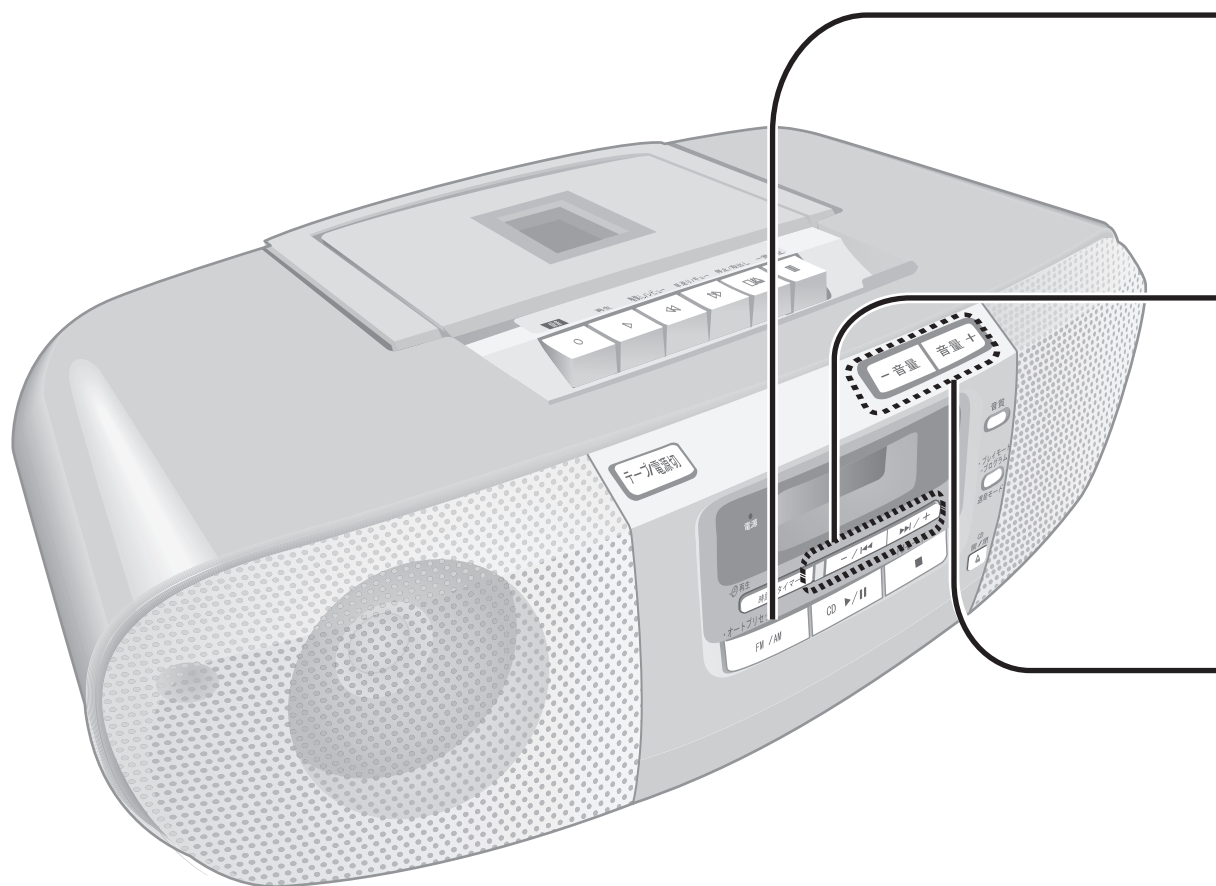
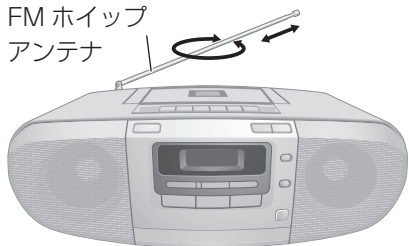
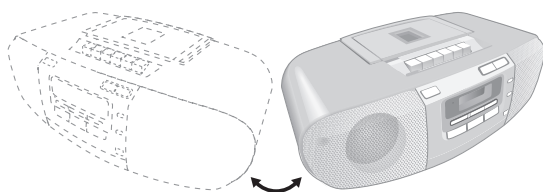
[■] 約 2 秒間押す

（"*CLEAR*"と表示）

（表示：CLEAR）

使いかた

CDを聴く

ラジオを聴く

■受信状態をよくするには

FM ホイップアンテナの長さや角度を調整する。

本体の向きを調整する。

周波数を合わせて聴く（マニュアル選局）

1 〔オートプリセット FM/AM〕で、FM/AM を選ぶ

（押すたびに換わる。）

■"PGM"が表示されている場合は

〔選局モード〕押す　FM 88.1

（"PGM"表示が消える。）

2 〔−/⏮〕〔⏭/+〕で、放送局を選ぶ

■自動選局（オートチューニング）は

〔−/⏮〕〔⏭/+〕押したままにし、周波数の表示が動き始めたら離す。

（放送局を受信すると、停止する。）

●自動選局を止めるには、再度押す。

（周囲に妨害電波があると、放送局を受信せずに止まることがあります。）

3 〔− 音量〕〔音量 +〕で、音量を調節する

■ラジオを止める（電源を切る）には

〔テープ/電源切〕押す

■FM ステレオ放送で雑音が多いときは

〔FMモード ■〕押す　MONO FM 88.1

（モノラル音声になり、雑音が減ります。）

●解除するには、再度押す。

■音質を変えるには

5 ページをご覧ください。

お願い

●乗り物や建物の中では、電波が弱まり聴こえにくくなるため、できるだけ窓際で聴く。

●テレビやパソコン、携帯電話などから離して使う。（雑音の原因になるため。）

お知らせ

● AM の音声はモノラルになります。

放送局を記憶させて聴く（プリセット選局）

放送局をチャンネルに記憶させておくと簡単な操作で聴くことができます。（FM、AM とも 16 局まで記憶可能。）

放送局を記憶させる

■自動で記憶させる（オートプリセット）

受信できる放送局を各チャンネルに自動で記憶します。

① 〔オートプリセット FM/AM〕で、FM/AM を選ぶ

●FM の場合は、アンテナを伸ばす。

② "PGM"が点滅表示するまで〔オートプリセット FM/AM〕押したままにする

（放送局を検知後、チャンネルに記憶し、最後に記憶された放送局で止まる。）

■手動で記憶させる（マニュアルプリセット）

好みの放送局のみを記憶できます。

① 記憶させたい放送局を受信する

② "PGM"が点滅表示するまで〔選局モード〕押したままにする　PGM FM 88.1

③ 〔選局モード〕押し、チャンネルを表示させる　PGM FM 1　プリセットチャンネル

④ 〔−/⏮〕〔⏭/+〕で、記憶させるチャンネルを選ぶ　PGM FM 3

⑤ 〔選局モード〕押して、決定する

■続けて記憶させるときは

手順①〜⑤をくり返す。

お知らせ

●オートプリセットで記憶させたチャンネルに上書きすることもできます。

●プリセット選局では、記憶したチャンネルに他の放送局を記憶させると、前の記憶は失われます。

記憶させた放送局を聴く

① 〔選局モード〕押す　PGM FM 88.1

（"PGM"が表示）

② 〔−/⏮〕〔⏭/+〕で、聴きたいチャンネルを選ぶ　PGM FM 3

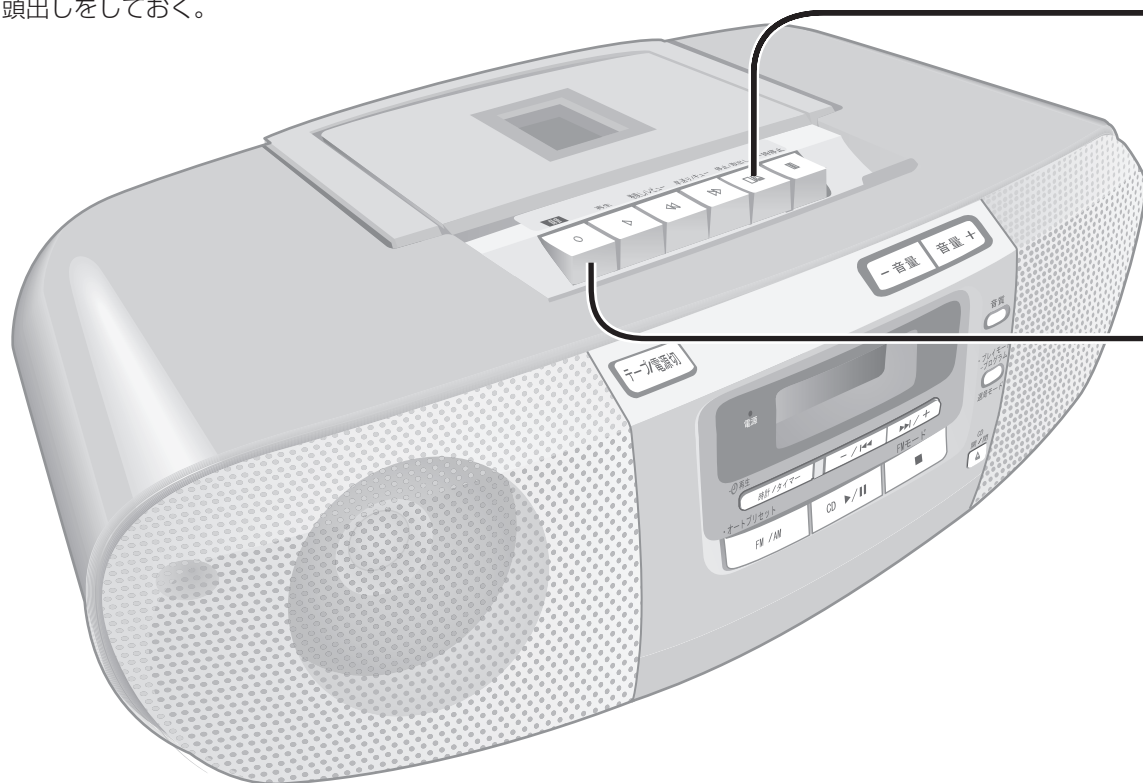
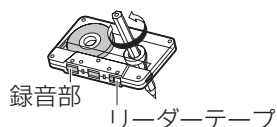
録音する

テープの準備：

●はじめから録音するとき

録音できないリーダーテープ（色の違う部分）を送り出しておく。

●途中から録音するとき

テープを再生して、録音を始める位置に頭出しをしておく。

外部機器やマイクと接続する

・外部機器と接続する場合は、本機および外部機器の電源を切った状態で接続してください。

・テープが入っていない状態で［再生 ▶］を押すと、外部機器側の音声が聴けます。

接続コードの推奨品

・RP-CA3A 1.0 m（抵抗入り）

マイクの推奨品

・RP-VK45、RP-VK35、RP-VK25

（品番は 2010 年 1 月現在のものです。品番は変更されることがあります。）

マイクを使う

・テープの録音は片面ずつになります。
・外部機器から録音する場合は、先に機器を接続し、音量や音質を調節してください。(➜ 10 ページ)
また、CD やラジオモード(電源ランプが点灯)になっている場合は テープ/電源切 を押してください。

1 停止/取出し ■/⏏ **押し、**
録音したい面を上にして
テープを入れる(➜ 5 ページ)

2 音源を選び、準備する
● CD:演奏してから ■ 押して、
一度止める。
● ラジオ:放送局を選ぶ。

3 録音 ● **押す(録音開始)**
(同時に 再生 ▶ が押し込まれる。)
● CD の場合:自動で演奏が開始される。
●外部機器の場合:演奏を開始させる。

■録音停止は 停止/取出し ■/⏏ 押す

■一時停止は 一時停止 ⏸ 押す
●再開するには、再度押す。

■CD 停止は ■ 押す

■ラジオ停止は
録音を停止してから テープ/電源切 押す

■テープの反対面に録音するには
テープの面を入れ換えて手順 ❷ 、❸ を行う

録音を消して、無音テープを作る

① CD やラジオモード(電源ランプが点灯)になっている場合
テープ/電源切 **押す**
② **消したい面を上にしてテープを入れる**
③ 録音 ● **押す**

お願い

●録音時には家庭用コンセントか新しい乾電池(8 個共)のご使用をおすすめします。(録音中の電池消耗によるトラブルを防ぐため。)

お知らせ

●録音中に音量や音質を変えても、録音には影響しません。
●録音中は、音源変更や CD のスキップ / サーチの操作はできません。

カラオケを楽しむ

準備:
① CD ▶/⏸ または FM/AM で、電源を入れる(電源ランプ点灯)
② 本機の音量を下げる
(ピーというハウリング音防止のため。)
③ マイクを接続する(➜ 10 ページ)

1 テープや CD、ラジオを演奏する

2 マイクに向かって歌う

3 − 音量 音量 + **で、音量を調節する**

拡声器として使う

① テープ/電源切 押す
②テープが入っている場合は取り出し、
再生 ▶ 押し、マイクに向かって話す

テープに録音する(CD とラジオのみ)

① 停止/取出し ■/⏏ 押して、録音用のテープを入れる
●マイクの音声だけを録音するときは、手順③へ。
② CD やラジオを演奏する
③ 録音 ● 押して、マイクに向かって歌う(録音開始)
(同時に 再生 ▶ が押し込まれる。)

■録音の停止は 停止/取出し ■/⏏ 押す

■録音の一時停止は 一時停止 ⏸ 押す

お知らせ

●マイクを使用中にハウリングが起きたら、スピーカーから離すか、音量を下げてください。
●音声多重のテープや CD を使っても、歌手の声は消せません。
● CD でカラオケをしている場合は、CD の停止や一時停止中には、マイクの音声は出ません。

タイマーを使う CD・ラジオのみ

おやすみタイマー

設定時間が経過すると、演奏が自動停止し、電源も切れます。

1 CD やラジオを演奏する

2 時刻 / タイマー 3回押す
（"SLEEP" が表示）
SLEEP OFF

3 −／⏮ ⏭／＋ で、終了時刻を選ぶ
SLEEP 60
（押すたびに換わる。）

■残り時間の確認は

時刻 / タイマー 3回押し、"SLEEP" 設定表示にする。

■タイマーを OFF にするとき

① 時刻 / タイマー 3回押し、"SLEEP" 設定表示にする。

② −／⏮ ⏭／＋ で、"***OFF***" を選ぶ
SLEEP OFF

お知らせ

- おめざめタイマーとおやすみタイマーは、同時に使用できます。
- おめざめタイマーと設定時刻が重なったときは、おやすみタイマーの設定が優先されます。
- おめざめタイマーの設定後でも、演奏は楽しめます。
- おめざめタイマー開始時刻に電源が入ったあと、電源を切 / 入すると、終了時刻に電源は切れません。
- "◴ PLAY" 点灯中は、おめざめタイマーは毎日動作します。

おめざめタイマー

開始時刻になると、設定した音量まで徐々に大きくなり（フェードイン）、再生されます。

■タイマーの時刻を設定する（開始と終了）

準備 ① 時計を合わせておく（➜ 3 ページ）
② CD ▶/⏸ または FM/AM で、電源を入れる（電源ランプ点灯）

1 時刻 / タイマー 2回押す
（"◴ PLAY ON" が表示）
◴PLAY ON 21:00

2 −／⏮ ⏭／＋ で、開始時刻を選ぶ
◴PLAY ON 7:30

3 時刻 / タイマー 押す
（"◴ PLAY OFF" が表示）
◴PLAY OFF 7:30

4 −／⏮ ⏭／＋ で、終了時刻を選ぶ
◴PLAY OFF 8:00

5 時刻 / タイマー 押し、決定する
◴PLAY OFF 8:00

■開始 / 終了時刻の変更は

上記手順 ❶ ～ ❺ を行う

■タイマーを使う

準備 ・音源（CD またはラジオ）を選ぶ
・音量を調節する

6 " ◴ PLAY" が表示されるまで
◴PLAY 11 48:33
時刻 / タイマー 押したままにする

7 テープ/電源切 押し、電源を切る
（電源ランプが消灯し、設定時刻に電源が入る。）

■設定内容の確認は

時刻 / タイマー 2 回押し、"◴ PLAY ON" を表示させる

■タイマーを OFF にするとき

電源が入った状態（電源ランプが点灯）で"◴ PLAY" が消灯するまで
時刻 / タイマー 押したままにする

■音源や音量の変更は

① タイマーを OFF にする（➜ 上記）
② 音源や音量を変更する
③ 手順 ❻、❼ の操作を行う

CD／テープについて

CD について

■使用できる CD は

●

このマークの付いた CD

● CD-DA フォーマットで記録された音楽用の CD-R/CD-RW（ファイナライズ※されたもの）

・記録状態によっては、再生できないことがあります。

※音楽用 CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるように処理すること。

■使用できない CD は

・ハート型など、特殊形状の CD（故障の原因になります。）

■使用を保証していない CD は

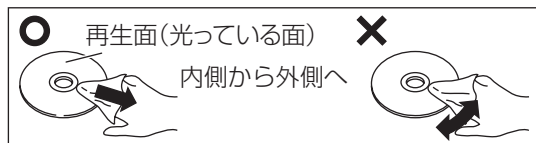
・違法にコピーした CD
・DualDisc（デュアルディスク：両面に音楽や映像などの情報が書き込まれたディスク）

■取り扱い上のお願い

・鉛筆などで字などを書かない。
・レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
・紙やシール、ラベルを貼らない。
・傷つき防止用のプロテクターなどを使わない。
・シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない。

■お手入れは

●汚れたら

水を含ませた柔らかい布でふいてから、からぶきする。

●露がついたら
（急に暖かい室内に持ち込んだときなど）

柔らかい布でからぶきする。

テープについて

■使用できるテープは

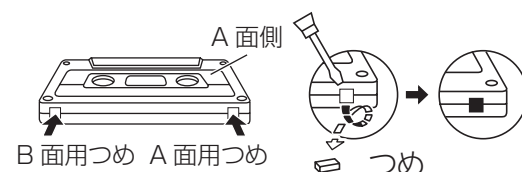
ノーマルポジション /TYPE Ⅰのテープ

・ハイポジション、メタルポジションのテープは使用できますが、その特性を活かした再生や録音はできません。

■取り扱い上のお願い

テープのたるみは巻き取っておく。（テープが傷ついたり、切れる原因になります。）

●録音を誤って消さないために

ドライバーなどで、つめを折り取る。

再び録音したいときは、
セロハンテープなどを貼る。

● 100 分を超えるテープは

こきざみな再生や停止、早送り、巻戻しをくり返さない。（テープが薄いため、回転部に巻き込まれる原因になります。）

●エンドレステープは

必ず、テープ付属の説明に従う。（誤使用により、テープが回転部に巻き込まれる原因になります。）

●テープが取り出せなくなったり、音質の低下を防ぐために

・テープに付属以外のシール（特に厚みのあるもの）は貼らない。
・シールは、指定場所以外に貼らない。

CD とテープの保管場所

次のような場所は避けてください。

・直射日光の当たるところ
・湿気やほこりの多いところ
・暖房器具の熱が直接当たるところ

故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここをご確認ください	処置	ページ
システム全体に共通	乾電池を入れたが動かない。	乾電池の入れかたが間違っていませんか。	乾電池を正しく入れてください。	3
		本体に電源コードが接続されていませんか。	乾電池で使う場合は、本体から電源コードを外す。	3
	"U01"が表示された。	乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池を入れる。または家庭用コンセントを使う。	3
	メモリー（放送局や時計などの設定）が解除された。	メモリー用の乾電池を入れていないと、次のとき設定が解除されます。 ・停電したとき ・電源プラグをコンセントから抜いたとき ・コンセントに接続していない電源コードを、乾電池で使用中の本体に差し込んだとき	メモリー用乾電池を入れる。	3
	他の機器（ラジオ、テレビなど）に雑音が入る。	他の機器の近くで本機を使用していませんか。	本機を他の機器から離す。	−
	電源切のときに時計表示されない。	電源用電池で使用しているときは、表示されません。	電源コードで使用する。	3
テープ	雑音が多い。 音質がよくない。 高音が消える。	ヘッドが汚れていませんか。	クリーニングテープを使って清掃する。	−
	テープが取り出せない。	乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池または家庭用コンセントを使用し、［再生 ▶］を押したあと［停止、取出し ■/⏏］を押す。	3
	テープを入れたあと、ふたが閉まらない。	テープをそのまま本機のテープ挿入部に装着していませんか。	テープをカセットふたのガイドに沿わせて装着する。	5
CD	"***ERROR***"が表示された。	適切でない操作をしたか、操作を間違えています。	取扱説明書にしたがって操作し直す。	−
	"***NO PLAY***"が表示された。	規格外の CD ではありませんか。	規格に合致した CD と取り替える。	13
	演奏が始まらない。 曲数などの表示が出ない。	CD が汚れていませんか。	柔らかい布でふく。	13
		寒いところから急に暖かいところへ持ってきたなど、急激な温度変化がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられるので、約 1 時間待ってから使用する。	−
		CD の裏表が逆になっていませんか。	ラベル面を上にして CD を入れ直す。	6
	CD-RW が読み込めない。	不完全な録音形式ではありませんか。	正規の録音形式で録音された CD-RW を使用する。	13
ラジオ	雑音が入る。	他の機器のリモコンを近くで使っていませんか。	本機を他の機器のリモコンから離す。	−
		テレビやパソコン、携帯電話などの近くで使用していませんか。	本機をテレビなどから 1.5 m 以上離す。またはテレビなどの電源を切る。	−
録音	雑音が録音される。	テレビやパソコン、携帯電話などの近くで使用していませんか。	本機をテレビなどから 1.5 m 以上離す。またはテレビなどの電源を切る。	−
	録音できない。	テープのつめを折っていませんか。	折った部分にセロハンテープなどを貼る。	13

仕様

テープ部

トラック方式	ステレオ
モニター	バリアブルサウンドモニター
録音方式	交流バイアス
消去方式	マグネット消去
周波数範囲（ノーマルポジション）	50 ～ 12000 Hz（JEITA）

CD 部

再生可能ディスク	CD/CD-R/CD-RW
再生可能フォーマット	CD-DA
サンプリング周波数	44.1 kHz
ワウ・フラッター	測定限界以下
量子化	16 ビット直線
光源	半導体レーザー（波長 795 nm）
チャンネル数	2 チャンネル（ステレオ）
周波数特性	40 Hz ～ 20 kHz

ラジオ部

受信周波数	
FM	76.0 ～ 90.0 MHz（100 kHz ステップ）
AM	522 ～ 1629 kHz（9 kHz ステップ）

共通

スピーカー	8 cm 丸形　8 Ω　2 個
実用最大出力（DC 時）	2 W + 2 W（JEITA）
電池持続時間	
ラジオ録音	約 10 時間（JEITA）
CD録音	約 9 時間（連続録音時）
CD再生	約 7 時間（連続演奏時）
テープ再生	約 9 時間（JEITA）（再生時の音量は、音量 MAX に対し 7 分目程度）（別売パナソニックアルカリ電池 LR14 (G) 使用時）
音声入力 (MIC) マイク端子	φ 3.5 mm モノラルミニプラグ
音声出力（PHONES）ヘッドホン端子	φ 3.5 mm ステレオミニプラグ（32 Ω）
メモリー用乾電池	DC 6 V、（単 3 形乾電池　4 個）
電源	
電源コード	AC 100 V 50/60 Hz
乾電池	DC 12 V、（単 2 形アルカリ乾電池　8 個）
消費電力	AC 14 W
最大外形寸法（幅×高さ×奥行）	408 mm × 148 mm × 271 mm（JEITA）
質量	約 3.2 kg（乾電池を含まない） 約 3.8 kg（乾電池を含む）
許容周囲温度	0 ℃～ +40 ℃
許容相対湿度	35% ～ 80%（結露なきこと）

電源切時の消費電力：約 0.4 W
（電源コード使用時）

注）・乾電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。
・この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

お手入れ

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学ぞうきんは、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 良い音でお楽しみいただくために、定期的に清掃されることをおすすめします。
  - ・CD レンズ部：専用クリーナーでふいてください。
    推奨品：CD レンズクリーナー（品番 RP-CL510）
    (品番は 2010 年 1 月現在のものです。品番は変更されることがあります。)
  - ・カセットヘッド部：クリーニングテープ（市販）の使用をおすすめします。

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **電源プラグが異常に熱い**
- **本体に変形や破損した部分がある**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。
・電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない
（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。
・コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
・傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
・電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

・液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
・液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

⚠ 警告

電池は誤った使いかたをしない

- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕ と ⊖ を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕ と ⊖ を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

・ 電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

・ 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。

・ 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

⚠ 注意

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

・ 後面の排気孔をふさがないでください。

・ また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

CD トレイに指をはさまれないように注意する

指はさみ注意

けがの原因になることがあります。

・ 特にお子様にはご注意ください。

異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

・ 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

・ また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

不安定な場所に置かない

高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

・ ディスクやテープは、保護のため取り出しておいてください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

ヘッドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。

・ 音量は少しずつ上げてご使用ください。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・使いかた・お手入れ などは

■ まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話	（　　）　－
お買い上げ日	年　月　日

修理を依頼されるときは

「故障かな !?」（➜ 14 ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

- ●製品名　ポータブルステレオ CD（シーディー） システム
- ●品　番　RX-D45（アールエックス ディー）
- ●故障の状況 できるだけ具体的に

● **保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。**

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

● **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

- **技術料** 診断・修理・調整・点検などの費用
- **部品代** 部品および補助材料代
- **出張料** 技術者を派遣する費用

※ **補修用性能部品の保有期間 6 年**

当社は、このポータブルステレオ CD システムの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

■ **転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください**

※「よくある質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。

http://panasonic.jp/support/

● **修理に関するご相談は**……………

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル（携帯・PHS OK） **0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地の「修理ご相談窓口」におかけください。

● **使いかた・お手入れなどのご相談は**……………………………

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル（携帯・PHS OK） **0120-878-365**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の修理ご相談窓口　※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	窓口	電話番号	所在地
北海道地区	札　幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭　川	☎ (0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯　広	☎ (0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函　館	☎ (0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青　森	☎ (017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋　田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩　手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮　城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山　形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福　島	☎ (024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃　木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群　馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨　城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼　玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千　葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東　京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山　梨	☎ (055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新　潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石　川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富　山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福　井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長　野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静　岡	☎ (054)287-9000	静岡市葵区千代田7丁目7-5
	愛　知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐　阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高　山	☎ (0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三　重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋　賀	☎ (077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京　都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大　阪	☎ (06)6359-6225	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈　良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵　庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥　取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米　子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松　江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出　雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜　田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡　山	☎ (086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広　島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山　口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香　川	☎ (087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳　島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高　知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛　媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福　岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐　賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長　崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大　分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮　崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊　本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天　草	☎ (0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大　島	☎ (0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖　縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html　1109

パナソニックの会員サイト「**CLUB Panasonic**」で「**ご愛用者登録**」をしてください

お宅の家電情報をまとめて登録管理！エンジョイポイントをためてプレゼントに応募！
アンケートにもご協力をお願い申し上げます。

PC http://club.panasonic.jp/

携帯 http://mobile.club.panasonic.jp/

※このサービスはWEB限定のサービスです。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部	☎ (03) 3481-2121	中部支部	☎ (052) 583-7590
北海道支部	☎ (011) 221-5088	北陸支部	☎ (076) 221-3602
仙台支部	☎ (022) 264-2266	京都支部	☎ (075) 251-0134
大宮支部	☎ (048) 643-5461	大阪支部	☎ (06) 6244-0351
東京支部	☎ (03) 3562-4455	中国支部	☎ (082) 249-6362
西東京支部	☎ (03) 5321-9530	四国支部	☎ (087) 821-9191
東京イベント・コンサート支部	☎ (03) 5321-9881	九州支部	☎ (092) 441-2285
横浜支部	☎ (045) 662-6551	鹿児島支部	☎ (099) 224-6211
静岡支部	☎ (054) 254-2621	那覇支部	☎ (098) 863-1228

—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

愛情点検

長年ご使用のポータブルステレオ CD システムの点検を！

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 本体に変形や破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

販売店名	☎（　　）　－	品番	RX-D45
お客様ご相談窓口	☎（　　）　－	お買い上げ日	年　月　日

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒571－8504 大阪府門真市松生町1番15号

RQTX1103-1S
H0110RT1021